

# 第1回美祢市総合計画審議会 議事録

日 時 平成30年11月16日（金）9時30分から12時まで  
場 所 美祢市民会館2階大会議室  
欠席委員 別紙名簿出欠状況表のとおり  
事務局 篠田副市長、総合政策部 藤澤部長、繁田部次長、  
総合政策部企画政策課森係長

## <資料>

・次第、委員名簿、配席表

『資料1』会議の運営について

『資料2』第二次美祢市総合計画策定方針

『資料3』総合計画策定工程概要

『資料4』人口推計及びアンケート（重要度・満足度）集計データ報告

<参考資料1> 第一次美祢市総合計画基本構想概要

<参考資料2> 後期基本計画概要版

<参考資料3> 美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略抜粋

『付属資料1』美祢市総合計画条例、美祢市総合計画審議会規則

## 1 開会

～資料の確認～

## 2 市長あいさつ

～ごあいさつ～

## 3 委嘱状交付

～委嘱状交付～

## 4 委員及び事務局職員紹介

～自己紹介～

## 5 会長、副会長選出

～事務局案により選出～

会長：田中委員  
副会長：小林委員  
副会長：竹岡委員  
～承認～

～田中会長ごあいさつ～

大学でも今生まれた子供が大学生になる 2040 年を課題としていろいろな展望を図っている。山口市の総合計画策定においても、いくつもの市が合併した巨大なまちなので、それぞれが山口市の地図を見ながら今なにをすれば良いのか、考えていった経緯がある。美祢市に置いても旧町ではなく、市が一体となった考えで総合計画をつくっていききたい。

～小林副会長ごあいさつ～

明るい美祢市にしていくために、絵に描いた餅にならないように皆様の御協力をお願いする。

～竹岡副会長ごあいさつ～

2040 年に向けてどのような美祢市にしていけば良いのかなどを勉強会などしながらいつも考えている。

## 6 第二次美祢市総合計画の策定について（諮問）

～諮問～

## 7 議事

### （1）会議の運営について

事務局より：定足数の報告、資料 1 について説明

会長：出席のメンバーが多いため、発言できないことがあった方は、後程メール等で良いので事務局に提出いただければと思う

### （2）第二次美祢市総合計画策定方針について

事務局より：資料 2 について説明

会長：ご意見ご質問はあるか

松田委員：12P の推進本部のメンバーを教えて欲しい。現場の意見は審議会で行うのか。

事務局：審議会が最上位機関であり、こちらに意見を出すための庁内の意見をまとめる上位機関がこの推進本部になる、委員は市役所各部局長となる。

松田委員：人口ビジョンでは人口 3 万人をめざしたところで大きくずれがあろうかと思うが、現状の総括などあれば教えていただきたい。

事務局：人口ビジョンにおいては、今後新総合計画を策定するにあたって人口の動きが重要で

あると考え、改訂する。資料4について人口の今後の推計をしているが、総括としては、今後の会議の中で審議していきたい。

会長：今すぐということではないが、現状の計画の施策などを一度しっかりと評価しないことには、次の計画を立てられないのではないかと思う。

事務局：当初3万人を目指した中で、そのとおりにはいかなかったという結果だったが、総合戦略、総合計画の施策自体はしっかり進めてきたが、人口にはその施策が反映されなかったと捉えている。

会長：9Pの実実施計画3年間のローリングとはどういうことか教えていただきたい。

事務局：実施計画は毎年ヒアリングを行いながら3年計画を毎年定めていくもの。

内海委員：人口減少を踏まえた上で、増やす方にはシフトしていかないのか。

事務局：資料4でも後程説明するが、平成42年に2万人を割り込むという数字が計算されており、その先には合併時の約半数になる想定がされている。必ずプラスに転じるかどうかは言い切れるものではないが、この大きな人口減少の流れの中で、その減少をいかに緩やかにするかを考えている。

会長：努力をしても増やすというのはなかなか困難であり、できるだけ減らさないという施策をとっている。

倉永委員：人口の問題について、これまで30年度は3万人を目指してきたのであろうが、しっかりその反省をし、1次の評価をしなければ、区切りとして一覧表にまとめていただきたい。

事務局：この審議会ですっかり評価をしていきたいと考えている。次回審議会ですべて示させていただく。

会長：経済や産業などどうしようもない部分もあると思うが、評価できる部分はしっかり評価しながら進められるようにしていただきたい。

藤村委員：美祢の高齢化対策は充実しているので、高齢化と少子化を分けて行うという話が先日校長会ででていた。教育推進計画もできたので、少子化に対しての施策ができると良いかと思う。

事務局：人口ビジョンの推計からでも合計特殊出生率と人口移動を加味していく。現総合戦略でも少子化対策、移住定住対策など人口増に対する戦略を立てているが、今回策定する総合計画にはこの総合戦略を一体的に組み入れた計画となるため、少子化対策や人口増に対する施策も重点的に盛り込んでいく。

松田委員：実施計画の展開表の項目として、総括をいれていただきたい。

事務局：実施計画の説明としては、各年見直して進めていく。

会長：都市マスタープランにもあるように、PDCAサイクルにしたがって進めて行くかと思われる。

磯村委員：総合戦略と総合計画は基本計画と併記するものではなく、包含するものではないか。

事務局：確かに基本計画の中に総合戦略が含まれていると思っている、総合戦略は人口減少対策に特化しているものであり、わかりやすく併記しているので了承いただきたい。

副会長：少子化高齢化を分けた方が良いということに対しては、市民の皆様が自分たちの計画としてもらうためにはワークショップなども使って周知していくことが重要だと思っている。

### (3) 総合計画策定工程概要について

事務局より：資料3について説明

会長：ご意見ご質問はあるか。

会長：進行手順について、左側の箱の中について説明してほしい。

事務局：基本構想、基本計画、総合戦略の内容を示している。

会長：臨時部会などに素案があがってくるということでよかったか。矢印がわかりにくかった。

事務局：庁内検討、臨時専門部会、常設専門部会、審議会の順に検討していく。

井上委員：組織図と工程表において、美祢の将来を34名で決めるわけではないと思っており、一番大事なのはワークショップであろうかと思っているが、ワークショップの時期をみると、そこで出た意見を臨時部会でもむようにしてほしい。1回目でも前倒ししていただけたらと考えている。

事務局：前倒しできるように検討努力する。

### (4) 専門部会所属委員の選任及び部会長等の選任について

～案配布～

～10分休憩～

事務局より：配布された組織図について説明

～承認～

事務局より：部会長の事務局案

基本計画部会長：小林委員

副部会長：高木委員

総合戦略部会長：竹岡委員

副部会長：高須委員

都市計画部会長：内海委員

副部会長：戎屋委員

観光産業部会長：水谷委員

副部会長：猶野委員

ひと・暮らし部会長：羽根委員

副部会長：金子委員

～承認～

## 8 報告

### (1) 人口推計・アンケート第一次集計データ報告について

事務局より：資料4について説明

会長：ご意見ご質問はあるか。

内海委員：平成は31年で終了するので、年号は西暦の方が良いのではないか。

事務局：現在の段階では和暦で統一させていただいている。新たに決まれば改訂する。

松田委員：他都市との比較をみて、15歳未満人口が低く、少子高齢化が特異な課題といえる。少子化と高齢化は別問題とみて良いのではないか。重要度などにアンケート回答者の年齢層が出ているのではないか。

事務局：発送は無作為抽出であり、かつ比較的高齢者の方が、回答率も良いため、年齢構成は年齢の高い方に偏っている傾向がある。

会長：高齢者数はピークになっており、数は減ってくることも予想される。美祢市の中での人口移動は起こっているのかを把握したい。中心地に集まってきているのは、どのようになっているのかが見たい。市内の人口が集まる場所、出ていく場所にどのような施策を打って行けばよいのか、参考になろうかと思う。山口市でも非常に動きの特徴が顕著に出ていた。

副会長：アンケートについて、項目そのものを教えていただきたい。

事務局：次回に向けて調査票は用意することと、満足度、重要度以外のアンケート結果も示させていただく。

松田委員：年代別の分析結果を出して欲しい。

永谷委員：アンケートについて、子どもを市外に預けている様子も把握してほしい。

会長：昼間人口と夜間人口の様子も把握できたらと思う。

会長：高校の先生から意見は無いか。

藤村委員：バス路線も変えていただいたが、道が良くなると、市外に出ていく人も増えていくことを実感している。

野原委員：本校では市内中学3年生が合わせて現在181名ほどの生徒がいる。とにかく一番大変なことは、足の確保。今は山口方面に外部委託で朝3台、放課後4台のバスを確保している。130名がバスの利用者。美祢線や長門の方には出していない。交通機関の利用者減にならないようにしている。ただ、今後の事はいろいろと検討しているところ。

会長：多くの高校生が町の中を往来するだけでも活性化につながってくる。バスの確保は大事であるし、整理していく必要があるかと思う。

会長：本日の議事は全て終了

## 9 その他

事務局：次回日程は工程表を踏まえて改めて通知させていただく。本日はありがとうございました。